

2024年11月11日作成 Ver.3.0

《情報公開文書》

せん妄治療薬に関わる、臨床意思決定支援システムの確立と臨床応用

研究の概要

【背景】

せん妄は急性発症の意識障害で、特に高齢者や重症患者、術後やICU入院患者に多く見られます。せん妄の治療は原因の除去が基本で、必要に応じて向精神薬の投与が行われますが、明確な使用基準がなく、治療の質は医師や施設によって異なります。また、精神科医が常勤しない病院ではせん妄の適切な治療が難しいという課題もあります。そこで、私たちはせん妄治療に特化した、臨床意思決定支援システム（CDSS）のプロトタイプを開発しました。

【目的】

本研究の目的は、このCDSSの精度を確認し、問題点を抽出し、必要な改良を行うことです。非専門医や研修医でも迅速かつ正確な治療が行えるようにすることを目指し、CDSSによる推奨と実際に行われた処方的一致率を比較し、システムの精度と信頼性を評価することで、更なる改良を目指します。

【意義】

本研究で開発されるCDSSは、せん妄治療の質向上を支援し、特に精神科医が不在の施設や経験の少ない医師にとって、適切な薬剤選択と用量調整のサポートツールとして役立つことが期待されます。これにより、せん妄の早期治療が可能となり、患者さんの回復促進、入院期間の短縮、医療費削減にも寄与します。また、せん妄治療におけるエビデンス蓄積や治療ガイドラインの標準化にも貢献し、最終的には医療現場全体の効率化に資することが目指されています。

【方法】

本研究は、せん妄治療薬に関するCDSSプロトタイプの精度を後ろ向き研究で検証します。対象は2021年4月1日～2024年3月31日の当院精神科リエゾンチームが介入したせん妄症例とし、診療データを電子カルテから収集します。次に、CDSSの提案内容と実際の処方との一致率を比較し、精神科医が提案内容の適切性を評価します。結果の統計解析により精度を確認し、システム改良を図ります。

対象となる患者さん

- ・長崎大学病院の患者さんで下記の条件を満たす方
- ・2021年4月1日～2024年3月31日の間に、当院精神科リエゾンチームが介入した、成人年齢のせん妄の患者さん

研究に用いる情報

●研究に用いる情報

下記の情報を診療録より収集します。

- 患者背景
- せん妄の発症状況
- せん妄の診断、因子、タイプ
- 有害事象の有無
- 臨床検査データ
- 画像検査データ
- 併用薬
- 処方内容

本研究で利用する情報等について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。

情報の利用開始予定日

本研究は2024年12月12日より「研究に用いる情報」を利用する予定です。

あなたの情報をこの研究に使われたくない方は下記の「問い合わせ先」までご連絡頂ければ対象者から外します。その場合もあなたの治療等に不利益になることはありません。

ご連絡のタイミングによっては対象者から外せない場合もあります。

あらかじめご了承ください。

研究実施期間

研究機関長の許可日～2030年3月31日

研究実施体制

研究責任者	所属：長崎大学病院 精神科神経科 氏名：大橋 愛子 住所：長崎県 長崎市 坂本 1-7-1 電話：095 (819) 7293
情報の管理責任者	長崎大学病院 病院長

問い合わせ先**【研究の内容、情報等の利用停止の申し出について】**

長崎大学病院 精神科神経科 大橋 愛子

〒852-8501 長崎市坂本 1 丁目 7 番 1 号

電話：095 (819) 7293 FAX 095 (819) 7296

【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）

苦情相談窓口：医療相談室 095（819）7200

受付時間：月～金 8：30～17：00（祝・祭日を除く）